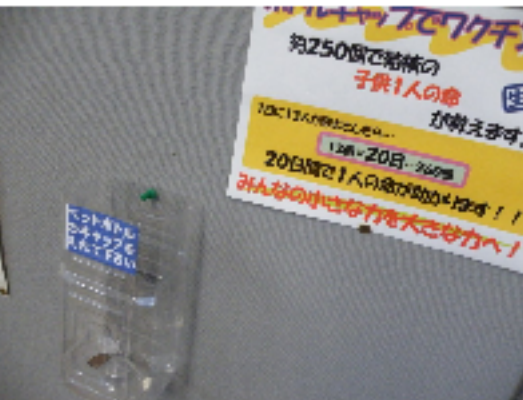


後期生徒会執行部、
支援の必要な途上国の子どもたちにワクチンを提供！
ボランティア活動を積極的に



発行
武生工業
新聞部

ボランティア活動が好きなという生徒会員の募集で、ネットボトルのキャップを集めるという簡単なことで人の命が救えるということが今回の活動理由である。集められたボトルキャップは「エコキャップ推進協会」という機関に送られる。この企画を進めるうえで心配な点を聞くと、生徒の皆さんが協力してくれるか心配だと答えた。また、「二年生に待たれては困るかもしれない」と、少しでも多くのボトルキャップを集めたいと意気込みを述べた。



「生徒会が設置したボトルキャップを収集する容器」

「最後に皆さんの命を救いたいのです、みんなで協力して頑張ろう」と答えた。なお、生徒会執行部のメンバーは一日最低一

平成二〇年度後期生徒会執行部は、ボランティア活動を積極的に行うことを目標とした。そして、最初の取り組みとして、ネットボトルのキャップを集め、活動をサポートするワクチンに換え、子供達の命を救うという企画を立てた。二百五十個のネットボトルのキャップで、子供の命が一人救えるという。この企画について、生徒会会長の中北峻介さんと副会長の北村輝彦さんに話を聞いた。

ボランティア活動が好きと言う生徒会員の募集で、ネットボトルのキャップを集めるという簡単なことで人の命が救えるということが今回の活動理由である。集められたボトルキャップは「エコキャップ推進協会」という機関に送られる。この企画を進めるうえで心配な点を聞くと、生徒の皆さんが協力してくれるか心配だと答えた。また、「二年生に待たれては困るかもしれない」と、少しでも多くのボトルキャップを集めたいと意気込みを述べた。

一月十九日(月)、放課後、本校三階図書室で、ナカヤ化学産業株式会社社長、中谷五志氏の寄付によって購入された本の授賞式が行われた。当日は、寄付者の中谷氏が招

ナカヤ化学産業株式会社
中谷氏、百万円の寄付
「ナカヤ化学産業株式会社」の社長



「寄付を受けた図書室の中北さん」

かれ、生徒十五名、教員十二名が参加した。本校側は、寄付された百万円のうちの五十万円をデザイン図書の本を購入した。これは、中谷氏の要請に答えたものである。また、残りの五十万円を一般図書購入費として、生徒の希望が多い本を購入した。中谷氏は、福井県雨の



中谷五志氏

際には被害にあつた地元の方たちを支援し、生徒たちが読みたい、専攻の豊富な書籍の購入を学校側に要請した。また、公立図書館などで読むことができない本を学校に置くなど、公立図書館と連携も提案していた。

後期生徒会

生徒会会長と副会長は後期生徒会の全体的な雰囲気について聞いた。中北生徒会会長は「役員が会長や先生の話を聞かないから話が進まない」と答えた。組織されたばかりで全体的にまだまとまりが弱い。しかし、具体的な活動の場を確保している。その一人一人の個性を生かし、最高の生徒会にしていきたいと意気込みを見せた。

後期生徒会にはボランティア活動を積極的に行う。



「大さきことから始めるのは難しいけれども、小さなところから始めたい」と明るく話す役員。最後に学校の皆さんのメッセージとして「みなさんの素晴らしい学校生活を送れるように生徒会も一生懸命頑張るので応援してください」と答えてくれた。今後の生徒会執行部の活動には是非期待をしてほしい。

今回、中谷氏の寄付によって購入した本は本校蔵書の三年生、木村将さんと上原正太さんが作成した本棚に置かれた。同校材を使用したとは思えないほど、大変精巧な作りとなっており、一見の価値がある。是非一度図書館まで足を運び見てもらいたい。



生徒制作の本棚

本棚を囲む中谷氏(左)と生徒

